

令和6年度 島根県立大田高等学校 学校評価報告書

4段階評価：A－十分に達成できている状況 B－おおむね達成できている状況 C－どちらかといえば達成できていない状況 D－ほとんど達成できていない状況

評価の数値（％）＝総数における肯定的意見（４・３）の割合 ＊(0)わからないは除く 【4:十分できている 3:大体できている 2:やや不十分である 1:不十分である 0:わからない】

教育目標	1 真理を探究し正義を愛する生徒を育成する	2 個性豊かで社会的資質に富んだ生徒を育成する	3 健康的で勤労意欲旺盛な生徒を育成する
------	-----------------------	-------------------------	----------------------

観点	学 校 評 価 項 目	教職員 評価	保護者 評価	生徒 評価	自己評価		学校関係者評価	
					評価	概評と改善策	評価	提言
主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善を図る	IT教育(プログラミング学習やIT講演会)を通じてITへの理解や興味が深まりましたか。	67	73	72	B	・ICT講演会は1年生で行ったので、他学年にはわからない部分があった。来年度はICT担当と連携して全校に広げていく必要がある。 ・協調学習について生徒は肯定的に捉えているが、教員はより高い内容を求めていると考えられる。来年度は教員研修が必要である。 ・プロジェクターの活用が日常的になってきたが、一部で接続トラブルを起こすことがあるが専門的な処理と思われるため対応が難しい状況である。 ・各教科で個別添削などにしっかり対応していただいているが、教職員の教科指導以外の業務増加に伴う負担増を懸念している。添削や生徒からの質問、小テストのやり取り、課題提出の対応がじっくりできるような環境も目指すべきではないかと考える。 ・新学習指導要領にもとづいた教科指導は試行錯誤の段階ではないかと思われる。公開授業の機会を活用していただくような働きかけを考えたい。 ・学習時間調査で特に課題テスト期間での学習の取り組みがみられることから、宿題や課題の効果がある程度みられる。今後も一部の生徒だけでなく、学校全体で主体性を持った取り組みになるよう教科指導の工夫が必要ではないか。 ・2年普通科のダイコウプロジェクトでは、今年度も生徒はいろいろな課題設定等を行ってきたが、教員はそれに関わっている教員しか生徒の状況が分からない部分があるので来年度は全教員で担当するようにしたい。 ・限られた予算の中でレイアウトや飾り、蔵書に工夫を凝らして魅力的な図書館を目指しており、来館した生徒に好評である。 ・調べ学習に役立つ蔵書をさらに充実させた。生徒に人気の新刊本も購入している。教科・学年会の要望もかなえていきたい。 ・朝読書、図書館だよりは生徒の読書増加に役立っている。今後も継続させていきたい。	A	・野球部の活躍から、生徒が少ないながらも活躍できるところが見れた。 ・評価について昨年と同様に高い値であり、安心している。妙案はないが、学校の魅力を高め、生徒募集につなげていただきたい。 ・中学生の進路に対する志望の軸が読みづらくなっている。また、理数科への志望の傾向は分からない。大田高校へ進学することのメリットをしっかりと伝えてもらいたい。 ・県外生徒の募集を継続してもらいたい。 ・評価について、平均は特に問題ないように見える。しかし、「0. わからない」という回答が多い項目についてその原因を分析してみてもうだろう。学校の教育活動がもっとよくなるためには「0. わからない」「1. 不十分である」に目を向けて分析し、改善を図っていくことが重要ではないか。 ・探究活動については、多くの地域の方が関わってくださっているが、個人の興味を地域の中で生かしていくというスタンスも必要ではないか。
	協調学習(ジグソー法やペアワーク、グループワークなど)を通じて深い学びをすることができたか。	78	84	91				
	本校は、教室にあるICT機器(プロジェクター、タブレットなど)が活用されていますか。	100	91	95				
	本校は、生徒自身の「学びたい」という気持ちや「学ぼう」という気持ちにえていますか。	89	91	86				
	公開授業や研修を通じて、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善が図られていますか。	84						
	生徒が宿題・課題等に取り組むことは、学習習慣の確立や基礎学力の向上につながっていますか。	92	91	88				
	生徒を取り巻く様々な場面で学習で、課題設定・解決スキルを育てることを意識しましたか。	76						
	本校の図書館は、生徒にとって利用しやすいですか。	92		86				
	本校の図書館の蔵書構成(生徒が読みたくなるような本、調べ学習に役立つ本等)は充実していますか。	94		87				
地域・家庭とともに成長する学校をめざす	「図書館だより」などの広報誌の配布、出張図書館や展示の掲示は、生徒の読書活動につながっていると感じますか。	92		82	B	・今年度は4月から生徒の探究学習に対するモチベーションが低いと感じた。生徒が地域理解の必要性に迫られるような工夫が必要。大田高校コアワーキングメンバーの方々を中心に、多くの地域の方に生徒のサポートをしていただき、生徒たちは熱心に探究学習に取り組んでいた。もう少し生徒たちが地域の方に相談しやすい環境を整え、大田高校を支えてくださる地域の方が大勢いらっしゃるということを生徒・保護者・教職員に知ってもらう必要がある。 ・服装・頭髪検査の実施だけでなく、気付いたときに全教職員で指導を行う。 ・生徒にとって部活指導の充実は必須である。(専門性や経験のない部活顧問の負担感の解消も必須) ・ボランティア活動に関心ある生徒の減少を感じるので、積極的な啓発を行っていく。 ・よりよい情報提供につながるよう、内容を精選したい。年内入試に関する関心が高いが、全体の説明会だけでは個々のニーズに応じきれない面もあるため工夫が必要か。 ・3年生の各種集会を通じて情報提供を行った。業者や専門学校等と連携し、就職・公務員対策にも力を入れた。 ・キャリア教育の充実1、2年次における具体策立案が急務だと感じている。 ・各種補習について生徒・保護者の多くは一定の理解を示しているようだ。授業のみで期待する成果が出ているのであれば、実施しなくても全く問題はない。ただし、3年生の夏期補習は意識づけの意味も含め、講座形式での実施を継続したい。 ・昨年より多少はあがっているが、評価は低めである。PTA総会を土曜日に設定したが、参加者も少なかった。また、授業公開日も参加を増やす取組を検討する。 ・今年から「泰山木」が学校便りの扱いになったが調査時までには発行できなかった。来年度に向けては、従来通り年2回発行とし、その内容も充実させていきたい。	A	・ボランティア活動もランドデザインの中に組み込んではどうだろう。 ・ボランティアを含め、地域の課題をわが事として捉えることが重要である。地域から高校生に参加して欲しいという要望は結構たくさんある。地域の様々な活動に積極的に参加していただきたい。 ・中学校の部活動指導の地域移行は指導者がなかなかいない、指導者と生徒の人間関係づくりが難しいなどの理由があり、なかなか前進していない。高校でも同様なことが起こっていくと考えられる。
	地域に係る活動(地域体験活動や地域探究学習など)を通じて地域への理解や愛着が深まりましたか。	87	76	76				
	服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていますか。	76	90	87				
	部活動の内容は、生徒、保護者にとって満足できるものですか。	72	76	84				
	本校は、生徒のボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	50	66	77				
	本校は、保護者進路説明会等を通じて、保護者に進路に関する情報を伝えていますか。	92	84					
	本校は、進路講演会や学年集会等を通じて、生徒に進路に関する情報を伝えていますか。	92		92				
	本校のキャリア教育は、生徒に自分の生き方なり方について考えるものになっていますか。	78	86	90				
	各種の補習(土曜日・平日・夏期・冬期)は学力向上に効果がありますか。	69	80	81				
自他の生命や人権を大切にする生徒の育成をめざす	PTA総会、授業公開日など保護者対象の行事は、適切に行われていますか。		65		B	・いじめ防止基本方針について、生徒はもちろん、保護者に対しての周知徹底を今後とも行っていく。 ・学校生活の中でどのように合理的配慮を行うことができるか検討したり情報共有したりできる機会を増やしていきたい。 ・1年のHR活動など、互いを尊重し協力し合うよう支援している。学校活動のすべての場面に生かせるように支援したい。 ・生徒の評価が若干下がったが、概ね昨年度よりは良い評価であった。緊急連絡メールについては、緊急メールを通常の連絡のように使用する例もみられたため、ルール作りが必要との意見もあった。緊急メールはあくまでも緊急情報の発信、その他の情報はホームページなどでの配信というように、ルール作りをしていきたい。 ・教員と生徒のアンケート評価に開きがある。きちんと清掃に取り組むことができるよう清掃の啓発についても計画していきたい。 ・学年部、担任の先生方、保護者と連携を取りながら早期対応に努めた。SCをはじめとする専門家の先生方のアドバイスをもとに対応することができた。 ・健康観察、出欠状況、心身の両面の健康状態の把握についてはおおむねできていると感じる。 ・人権学習について地元のふれあい会館講師による3年生講演会は大変効果があった。1、2年生への教育も充実させていきたい。 ・本校を「相談しやすい」と捉えている生徒の肯定的評価の割合が低下した。一層生徒理解に努め、学校全体で生徒を見守り、信頼を深めていけるようにしたい。 ・生徒理解について、生徒の肯定的評価の割合が低下した。担任の定期的な生徒面談や保護者面談などに加え、常日頃から様々な場面で生徒理解に努めていく。	A	
	本校は、いじめ防止基本方針に基づいた取り組みが、実施されていますか。	89	84	80				
	本校は、合理的配慮やユニバーサルデザインを意識した教育が行われていますか。	76		85				
	本校は、自尊感情やコミュニケーション力を高める取り組みをしていますか。	79						
	本校は、生徒の安全確保(安全点検、避難訓練、防災教育、緊急連絡メールなど)を適切に行っていますか。	92	89	90				
	本校では、全校生徒と全職員によって環境衛生・美化意識の高揚(清掃活動の推進)が図られていますか。	63		96				
	本校では支援を必要とする生徒を早期に把握し、担任・保護者・関係者との連携を密にし他機関との連携を含めた早期対応が図られていますか。	89		87				
	生徒の健康管理・維持への対応や指導は適切ですか。		84	86				
	本校では、人権学習や講演会を通じて、人権意識を高める教育が行われていますか。	82	90	92				
総合的に見て、本校に入学して良かったですか。	本校は相談しやすい学校ですか。	86	78	75				
	本校は生徒理解に努めていますか。	92	83	84				
			96	81				